



吉敷の木
「もみじ」



吉敷の花木
「うめ」



吉敷の草花
「マリーゴールド」



吉敷の草花
「サルビア」

ふるさとだよ

よしき

FURUSATO DAYORI YOSHIKI

2024

2

No.815

令和 6 年 山口市二十歳のつどい



二十歳を迎えた皆さん おめでとうございます!
市二十歳のつどい

CONTENTS

インフォメーション..... 2

鴻南地域包括支援センターからの
お知らせ..... 3

みんなで防災..... 3

【トピックス①】
にぎやかに
「良城クラブまつり」開催..... 4

読者発なんでも広場..... 5

今月の吉敷人..... 5

レポート..... 6

吉敷の福祉・健康..... 7

リレーエッセイ..... 7

イベントカレンダー..... 8

かけはし..... 8

よしき人

イニフオメーバン

すき！をさがそう

えをかこう！

画用紙を好きな形に切って、折ったり、貼ったり、絵を描いたり。自分の「すき」を探して、みんなで絵を描こう！

【とき】2月17日(土)10時～12時

【場所】地域交流センター 講座室

【対象】小学1～3年生30名(先着順)

【講師】佐々木範子氏(画家)

準備 自由に絵を描くために使いたいもの(はさみ、のり、筆記用具、絵具、色鉛筆、好きなものの絵や写真、等)

【申込・問い合わせ】地域づくり協議会

☎083-9222-3344

吉敷ペタンク交流大会

ペタンクをしながら交流しませんか？ペタンクは木製のビュット(目標球)に金属製のボールを投げ合い、点数を競う競技です。

初心者でも「気軽に」「みんなで」楽しめますよ。

【とき】3月3日(日)8時30分集合(雨天中止)

【場所】ちよるる広場

【定員】60名(先着順)

【申込締切】2月20日(火)

【主催】地区社会福祉協議会・良城クラブ

【申込】地区社会福祉協議会

☎083-9222-3344

第4回吉敷の近未来を想像し語る会を開催します

「赤田神社に若者が集まるのはなぜ」と題して赤田神社のお祭りイベントについて、宮司

鴻南地域包括支援センター からのお知らせ

「通所介護」って 知っていますか？

「通所介護」は介護サービスの1つで、通称「デイサービス」と呼ばれます。

施設へ通い、食事の提供、入浴の介助、脳活性トレーニングやレクリエーション、日常生活上の支援などのサービスがあり、要介護認定を持った方が利用できます。

可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるように、利用者の心身機能を維持するとともに、家族の介護負担軽減なども目的としています。



「通所介護」と異なり、要支援認定をお持ちの方、要件を満たした方が利用できるサービスもあります。

心身機能の低下がみられる方に対して、日常生活上の支援や、生活行為向上のための支援を行います。

- 通所介護相当サービス
- 体と脳の機能アップ教室
- 足腰機能アップ教室
- 短期集中通所型サービス

すべての高齢者が利用できる 「一般介護予防事業」

介護予防出張講座やいきいき百歳体操等、心身の活力を維持し、元気に暮らしていただくための通いの場です。



あなたらしい生活を 取り戻しましょう！

介護予防には、毎日の過ごし方が何より重要と言われています。

サービスを利用する場合にも適切な目標を持ったほうが、より介護予防の効果を得られます。

まずは現状を正しく把握し、今、何が必要なのか専門職と一緒に考えてみませんか。何らかの理由で、一時的にフレイル（虚弱）状態になったと気づいた時がチャンス!! 内容について詳しく知りたい方は、まずは地域包括支援センターへお気軽にご相談下さい。

* 山口市鴻南地域包括支援センター
電話 (083) 934-3333



にぎやかに 「良城クラブまつり」開催

昨年度に続いて、11月13日(月)、ニューメディアプラザで、良城クラブ(吉敷地区老人クラブ連合会)の最大の行事である「良城クラブまつり」を開催しました。地域づくり協議会の小田秀昭会長をはじめ、吉敷地区を支援しておられる地域づくり関係団体の方のご臨席をいただき、祭りに花を添えていただきました。

今年度はコロナ禍も収まり、参加者も大幅に増え、130名の方々が心を一つにして楽しむことができました。私達高齢者は、平素から、「仲間づくり、伸ばそう健康寿命、地域貢献」という三大目標を掲げて、地区民と絆を深めながら元気に活動しています。

第一部では「落語やダンス・踊りなどの披露」

トップバッターの上利典子さん(木崎)の落語は玄人はだして、巧みな所作や仕草は、いきなり会場の皆さんを爆笑の渦に包みました。

昨年に引き続き社交ダンスの横尾宏志さん(赤田)の会場いっぱい流れのように、女性を巧みにリードしながら踊る息の合った若々しい姿に今年も見惚れました。

毎年、快く日舞を引き受けてくださる前田絹江さん(佐畑)。この日、米寿を迎えられたとは思えない美しい優雅な踊り。吉敷の名物です。

今年は会員も増えて、さらに賑やかに華やかに踊っていただいたフォークダンスの皆さん。いつもの明るい元気な躍動ぶりが印象的でした。

第二部では「のどの披露」

元気なシニアは声を出すのが一番です。そこで自慢のどを披露してもらいました。

まずは田鍋京子さん(赤田)。人気の詩吟・「富士山」を声量豊かに吟じ、会場の皆さんをうっとり魅了しました。

続いて各地から5人ものど自慢の皆さんがカラオケを熱唱。観客席から掛け声や拍手喝采で盛り上がり最高。いづれ劣らぬ素晴らしいのど自慢の方々は、三好哲彦(佐畑)・栗田シズ子(中尾)・蔵富律子(佐畑)・小田俊光(上

なんでも
広場

心地よい春

上東の手伝い隊が発足して今年で7年目に入る。最近発足時に掲げた「隊の理念」に少し近付いた事柄があり、心地よい春を迎えられた。

平成30年、前民生委員の発案で、困っている高齢者の手伝いをするにはどうすれば……と検討を重ねた。その結果「向う三軒両隣」の方、更に同じ班の方に出来る範囲で手助けをしていただくという指針を掲げた。

しかし人の心は微妙なもので、当該者の「近所の皆さんに迷惑をかけたくない」との思いが圧倒し、この指針は挫折。では、どうする?という再検討の結果、専属隊員の立ち上げということになり、今日まで何とか頑張ってきたというのが経緯である。隊員の皆さんは嫌な顔ひとつせず力仕事、送迎、話し相手等、多方面に頑張っていた。感謝の念に耐えない。素晴らしいメンバーに恵まれたものである。

ある日、現民生委員の方から「高齢者の方のゴミ出しをお願いしたい」と依頼があり即対応検討に入ったときに、「手伝い隊に頼む前に、近所で対応することにした」と電話が入った。私は早速民生委員宅を訪れ「グータツ

チ」をして帰った。これが文頭に記した「心地よい春」の訳である。

令和6年春 上東手伝い隊 齋藤

龍蔵寺の冬牡丹(ぼたん) 12月下旬〜2月末



誰の心にもきれいな花がある

内田 信行(木崎)

市消防団まとい隊の囃れ奏

1月7日午前中、名田島の山口南総合センターにて市消防団の出初式がありました。観閲式行進の先陣を各分団からのまとい隊が先陣を切り、勇ましく行進の景観をつけた。わ

レポート

冬休みの宿題やつつけた！

12月25日(月)・26日(火)の両日、「YKB会(吉敷交流勉強会)」を開催しました。

良城小学校児童の冬休みの宿題を、瀧南中学校の生徒や地域の方が親切に教え、児童も楽しみながら勉強できました。休憩時間には、紙芝居の読み聞かせを聞くことが出来ましたよ。



やさしいお味に癒される！

1月7日(日)、食生活改善推進員の皆さんにより、「春の七草がゆ」が開催されました。

当日はたくさんの方が訪れ、年末年始のごちそうで疲れた胃袋をいやし、1年間の無病息災を祈願しました。温かいお粥に癒されましたよ。



消防団激励会を開催しました

1月7日(日)地域交流センター講堂において、市消防団吉敷分団の日頃の地域活動に感謝し、吉敷消防後援会が激励会を開催しました。

激励会前には、市消防出初式で表彰された方々の紹介と賞状の授与を行いました。受賞された皆さんおめでとうございます。

これからも地域住民が安心して暮らせる安全な地域のためによろしくお願います。



二十歳の晴れ舞台おめでとう

1月7日(日)、市民会館で、「二十歳のつどい」が開催されました。

今年は、約1,

木崎町内会で活動するふれあい・いきいきサロン
「サロン木崎」をご紹介します。

「サロン木崎」

「サロン木崎」は、令和元年5月に設立しました。
月1回の例会には、毎回10名前後、多いときは子どもからお年寄りまで30名近くが集まります。

茶話会や季節の行事で交流

毎回気ままな「茶話会」をベースに、夏には「かき氷・スイカ割り大会」、秋には「健康講話とゲーム大会」、正月(1月)には「白玉ぜんざいパーティ」などを開催しにぎやかに交流しています。

コロナ禍でも地道に活動を続け、規制が緩和された令和5年の春からは、「月見団子サロン」「体験!コミタクでお買い物ツアー」「年忘れ豚汁大会」など新しい企画にも挑戦しました。

ぜひご参加ください!

これからの目標は開催日を増やすとともに、体験講座や講演、演芸など、「楽しみとうるおいのあるふれあいの場づくり」を目指したいと思っています。これまでたくさんの方にご参加いただくとともに、野菜やスイカ等材料の提供、調理や会場のお手伝い等、感謝に堪えません。

これからもみんなで盛り上げたいと思いますので、どんどんご参加ください。

【問い合わせ】

お世話人 津森(090-8720-1082)
上利(090-7127-7992)



リレーエッセイ

Relay Essay

044

はいかわ さん
配川 寛史さん



出身は美祿市秋芳町秋吉です。大学を卒業後、大阪で修業をして25歳で地元に戻ってきて現在52歳になりました。家族構成は妻、子供3人(26、22、21歳)ですが、今は妻、三男、母と4人で暮らしています。日々仕事に追われ、気づいたら大した趣味もなくこの年になってしまいましたが、地域の



1木	●市・県民税申告受付 9:30～14:00 ●町内会長会 18:30～
2金	●人生100年時代の健康づくり講座～相談編～ 13:30～15:00 ●野菜をもっと食べたいなる楽しい食育講座 10:00～11:30
3土	●人権学習推進大会 9:30～12:00 ●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 9:30～12:00
4日	●大内氏歴史講演会 10:00～12:00
5月	●あいさつの日 ●広報委員会 17:00～
6火	
7水	
8木	
9金	
10土	
11祝	
12休	
13火	
14水	
15木	●ふれあい型給食会
16金	
17土	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 9:30～12:00 ●すきいそがそう えをかこう! 10:00～12:00 P.2 ●えがお食堂よしき 11:30～

18日	
19月	●魚をさばいて海鮮丼を作ろう 10:00～12:00
20火	
21水	
22木	
23祝	
24土	
25日	
26月	●古敷ベタンク同好会練習 9:00～ ●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 10:00～15:00 ●地域交流センター定期利用調整会議 18:00～ P.2
27火	
28水	
29木	